

0949

第五九號

(決行後) 行同覽	速帶			決行指定 資 次 官	決裁指定	保存期限
	局長(部)局	局長(部)局	局長(部)局			
	軍務	兵務	整備	大 委	件 名	番 號
	人事	醫務				
				政務次官		
課長	課長	課長	課長	參與官	高級副官	主務局長
	軍務	兵務	整備			
	建築	補任	防備	書記官	主務副官	主務課長
	監査	第三課		主務局長	大官房	主務局長
				受領出	受領出	受領出
				昭和十二年九月廿一日	昭和十二年九月廿一日	昭和十二年九月廿一日
				經理甲第八三號		

野戰酒保規程改正之旨スル件

三〇二一

昭元廳(課名)

昭和拾貳年九月拾八日

政務官 或現職要職
書記官 回付(決行前)
會計經理
(決行後)

審案
登記者

昭和拾貳年九月拾八日

1960

0950

陸軍一般令

陸連弁号

野戰西保規程 左ノ通改正ス

年月日

陸軍大臣

改正ス

四十八號

官報

官報照合

CS 9.9

1960

大正ヨリ陸軍一般ノ章

野戰酒保規程別紙ノ通改正ス

(陸軍)

陸軍第四十八號

官報

官報照合

03 2 2

野戦酒保規程改正理由

現行野戦酒保規程ハ明治三十七年ノ制定ニシテ現在ノ野戦部隊ノ
 編制竝戰地ノ狀況ニ適合セサルモノアルヲ以テ之ヲ改正スルモノ
 トス

改正ノ要點概ネ左ノ如シ

- 一 野戦酒保ヲ設置スル部隊ノ名稱ヲ改正ス
- 二 酒保品ノ補充ハ補給機關ヨリ行フ如クス
- 三 酒保品補充ノ爲一時軍需品ヲ利用シ得ル如クス
- 四 酒保品ノ携行及追送量目ヲ若干増加ス
- 五 條文ヲ整理シ他ノ諸規定トノ關連ヲ明カニス

陸軍

0953

野戰酒保規程改正説明書

野戦酒保規程改正要旨

陸軍

現行野戦酒保規程ハ明治三十七年ノ制定ニシテ現在ノ野戦部隊ノ編制並戦地ノ狀況ニ適合ヤサルモノアルヲ以テ之ヲ改正スルモノトス

改正ノ要點概ネ左ノ如シ

- 一、野戦酒保ヲ設置スル部隊ノ名称ヲ改正ス
- 二、酒保品ノ補充ハ補給機關ヨリ行フ如クス
- 三、酒保品補充ノ為一時厚需品ヲ利用シ得ル如クス
- 四、酒保品ノ搬行及運送量同ヲ若干増加ス
- 五、條文ヲ整理シ他ノ諸規程トノ関連ヲ明カニス

野戦酒保規程改正説明書

二二九二
衣糧二課

陸軍

野戦酒保規程(陸軍)	野戦酒保規程改正案(陸軍)	改正理由
第一條 野戦酒保ハ戰地ニ於テ軍人軍屬ニ必要ノ需用品ヲ正	第一條 野戦酒保ハ戰地又ハ事表地ニ於テ軍人軍屬其他特ニ從軍ヲ許サレル者ニ必要ナル日用品飲食物等ヲ正	野戦酒保利用者ノ範圍ヲ明瞭ナラシメ且對陣間ニ於テ慰安施設ヲ爲シ得ルコトヲモ認ムルヲ要スルニ依ル
確且廉價ニ販賣スルヲ目的トス	確且廉價ニ販賣スルヲ目的トス	前項外野戦酒保ハ必要ナル慰安施設ヲナスコトヲ得
	第二條 本規程ニ於テ所管	所屬長官ノ意義ヲ

	<p>長官ト稱スルハ軍司令官、師團長、兵站監事之準スルヲ謂フ</p>	<p>明瞭ナラシムルヲ要スルニ依ル</p>
<p>第二條 軍司令部、師團司令部、兵站監部、歩兵、騎兵、砲兵聯隊、工兵、輜重兵、彈藥大隊其他</p>	<p>第三條 高等司令部、野戰酒保ノ長ヲ謂フ</p>	<p>野戰酒保ヲ設置シ得ヘキ部隊ヲ列挙スルハ複雑ナルミナラス却テ明確ヲ欲スコトナルヲ以テ概括的ニ之ヲ示シ且小部隊ニ在リテハ最寄部隊ノ酒保ヨリ供給ヲ受ケ又要スレハ共同酒保ヲ設クルノ要アルニ依</p>
<p>獨立セル大隊架橋</p>	<p>前項以外ノ部隊</p>	<p>保ヲ設クルノ要アルニ依</p>
<p>從列衛生隊野戰病院及兵站司令</p>	<p>部ニ於テ所要ニ應</p>	<p>本則トス</p>
<p>シ野戰酒保ヲ設置</p>	<p>木則トス</p>	<p>ル</p>

シ當該部隊長之	但ニ必要アルトキハ當該	
ヲ管理スルモノトス	部隊長ハ所管長官	
但野戰病院ニ在リ	ノ認可ヲ受ケ野戰酒保	
二個ニ付野戰酒保	ヲ設置スルコトヲ得	
個トス	前二項ノ外各部隊長ハ	
前項ノ外部隊ニ於	所要ニ應ジ所管長官	
特ニ酒保ノ設置ヲ	ノ認可ヲ受ケ同ノ酒	
要スルトキハ戰地ニ	保ヲ設置スルコトヲ得	
出発前陸軍大臣	野戰酒保ハ之ヲ設置シタル部隊	
ノ認可ヲ受クルモ	但前項ノ野戰酒保ニ在リハ	
トス	所管長官ノ指定スル部隊長	
	本管理大定ル所ニ依ル	
	第四條 軍又ハ師團ノ倉	各部隊野戰酒保品補
	庫・補給廠等ニハ倉	充ノ為補充機關ニ野戰
	隊酒保品補充ノ為所	酒保ヲ設置スルヲ必要

陸軍

<p>第四條 部隊長ハ野戰 酒保ノ業務ヲ整理 コトヲ得</p>	<p>(削除)</p>	<p>軍隊内務書ノ規定ヲ 準用スルヲ適當トスルニ</p>
<p>第三條 野戰酒保ノ資 金ハ平時ニ於ケル酒保 資金ヲ以テ之ニ充テ 若シ其資金ナキハ 又ハ資金僅シナル部 隊ニ在リテハ常部隊 於ケル前渡金ノ内ヲ 以テ一時之ニ代用スル コトヲ得</p>	<p>第五條 野戰酒保ノ資金ハ 平時ニ於ケル酒保資金ヲ 以テ之ニ充ツルモノトス 但シ資金ナキハ又ハ資金 ノ不足スル部隊ニ在リテハ前 渡資金ヲ以テ一時之ニ充 用スルコトヲ得</p>	<p>トスルニ依ル 從來ノ戰役及軍表ハ 何レモ此ノ例ニ依レリ</p>
<p>管長官ノ認可ヲ受ケ 野戰酒保ヲ設置スル コトヲ得</p>	<p>管長官ノ認可ヲ受ケ 野戰酒保ヲ設置スル コトヲ得</p>	<p>トスルニ依ル 從來ノ戰役及軍表ハ 何レモ此ノ例ニ依レリ</p>

<p>スル為所要ニ依リ將 校、同相管官ニ委員 ヲ命シ之ニ下シ卒テ 附屬ス</p>		<p>依ル</p>
<p>第五條 野戰酒保ノ 業務ハ軍隊ニ於テ 之ヲ行フヲ例トス 但シ狀況ニ依リ内地又 ハ現地ニ於テ請負人 ヲシテ之ヲ為サシムル コトヲ得</p>	<p>第六條 野戰酒保經營 ハ自營ニ依ルモノトス但シ 此ヲ得サル場合ハ折衝長 官等^一部ノ飲食物 等ノ販賣^{ハ此際ニ在リ} ヲ受ケ請負ニ依ルコトヲ得</p>	<p>一部ノ飲食物等ノ販賣 ノ外ハ隨意請負ニ依ルト キハ弊害發生ノ虞アルヲ 以テ認可制トスルヲ要シ又 野山砲兵聯隊等人員多 キ部隊ハ請負人ハ三名 トスルヲ要スルニ依ル</p>
<p>内地ヨリ請負人ヲ伴 行スル場合ニ於テ所 管長官ノ認可ヲ受</p>	<p>平時衛戍地ヨリ伴行スル 酒保請負人ハ軍隊トシ テ取扱ヒ一定ノ服装ヲ為 サシムルモノトス但シ其ノ</p>	

陸軍

ケ身元確實ナル者	人負ハ步兵、野砲兵及	
ヲ選定シシ軍属ト	山砲兵聯隊ニ在リテハ三名	
シテ之ヲ取扱ヒ一定	以内其他ノ部隊ニ在リテハ	
ノ服装ヲ為サシムヘシ	二名以内トス	
但シ其ノ人負ハ步兵		
聯隊ニ在リテハ三名以		
内其他ノ部隊ニ在		
リテハ二名以内限ル		
第六條 野戰酒保取	第八條 酒保品ハ努メテ現地	ノ酒保品ノ補充方法ニ関
賣品ハ現地ニ於テ調辨	ニ於テ調辨スルモノトシ現地	シテハ戰時補充令ノ定ム
スルヲ例トス、若シ現地	ニ於テ調辨シ難キモノ又ハ不	ル所ナルヲ以テ之ニ關聯セシ
ニ於テ調辨シ難キモノハ	利トスルモノハ戰時規定ノ定	ムルヲ通シ當トスルニ依ル但
補充隊又ハ編成ヲ担任	ムル所ニ依リ之ヲ補充スルモノ	シ該補充令ハ概不被
シタル部隊ノ留守部	トス	服装具ノ補充方法ト向

隊・其ノ調解及追送ヲ不託スヘシ	前項ノ規定ニ依リ補充ヲ受ケタルモノニ對シテハ速ニ代金ヲ送付スルモノトス	一 要領ニ改定セラルルコトヲ豫定ス
前項ニ依リ調解ノ委託ヲ爲ストキハ同特ニ夫ノ代金ヲ送付スヘシ	酒保品ニシテ補充上其ヲ得ザル場合ニ於テハ第四條ノ規定スル倉庫長官ハ所管長官ノ認可ヲ受ケ軍需品ノ補給上支障ナク限リ軍需品ヲ以テ繰替補充ヲ爲ストコトヲ得	又 酒保品ノ補充ヲ担任スル機関ニ於テハ軍需品補給上支障ナク場合ハ軍需品ヲ一府酒保品ニ繰替使用シ得ルコトヲ認ムルヲ通當トスルニ依ル
	前項ノ規定ニ依リ繰替補充ヲ爲シタル場合ニ於テハ同品質ノモノ其ヲ得ザル場合ハ同價格ノモノヲ以テ速ニ差入	從來ノ戰役及事表ニ何レモ此ノ例ニ依レリ

陸軍

<p>第七條 野戰酒保 ヲ販賣スル物品ノ價</p>	<p>(削除)</p>	<p>軍隊内務書ノ規定ヲ 準用スルヲ通商トスルニ依</p>
		<p>ニ依ル</p>
		<p>増量スルヲ通商トスル</p>
		<p>ナル場合ヲ顧慮シテ準</p>
		<p>正シ且現地調辦困難</p>
		<p>スヘキ量同ヲ米突法ニ改</p>
	<p>ハ一月一人ニ付千瓦ノ標準 トス</p>	<p>又 一月一人ニ付補充ヲ許容</p>
	<p>度スルモトス但シ其ノ量同</p>	<p>必量トスルニ依ル</p>
	<p>ケル最高等司令官之ヲ指</p>	<p>司令官ニ於テ指スル</p>
	<p>ハ所管長官又ハ其ノ地ニ於</p>	<p>長官又ハ其ノ地最高等</p>
	<p>スベキ酒保品ノ品種及量同</p>	<p>種數量ハ統制上所管</p>
	<p>後方ヨリ部隊酒保ニ補充</p>	<p>人補充スヘキ酒保品ノ品</p>
	<p>第七條 前條ノ規定ニ依リ</p>	<p>スルモノトス</p>

<p>拾八酒保委負ノ評 定ニ依ルモノトス</p>		<p>ル</p>
<p>第八條 野戰酒保委 テ販賣スルキ物品ノ種 類概テ左ノ如シ</p>	<p>(削除)</p>	<p>軍隊内務書ノ規定ニ 用スルヲ通常トスルニ依ル</p>
<p>酒、煙草、菓子、封 筒、紙、鉛筆、手拭</p>		
<p>手巾、甚磨、揚子、 手帖、マツヤ、箸、</p>		
<p>糸、針、釦、石鹼等</p>		
<p>第九條 野戰酒保携 行スヘキ物品ノ量目</p>	<p>第七條 野戰酒保ノ携行ス ヘキ酒保品ノ量目ハ一人當 リ重量五百グラム標準</p>	<p>野戰酒保ノ携行スヘキ 物品ノ品種、量目ハ部隊 長ニ於テ定ムルニ依リ</p>
<p>八兵負一人ニ対シ概 量ヲ合セテ百枚ト最</p>	<p>トシ其ノ品種及量目ハ部</p>	<p>又兵負一人ニ対スル携行量</p>

陸軍

大限トス	隊長之ヲ是ム	目ハ現行規程百俵(三三三) ヲ米突法ニ改正シ且若干 増量スルヲ通常トスルニ依 ル
第十條 後方ヨリ運送 スル野戰補保品ノ一 ヶ月間ノ數量ハ委員 一人ニ付前條度量 ノ二倍ヲ超過スル下 ヲ得ス	(消除)	第九條ニ包含セシメタル ニ依ル
第十條 野戰補保品 ノ荷造並運搬ハ一 般軍需品ト同一取 扱ヲ為スモノトス	第十條 野戰補保品ノ輸 送ハ一般軍需品ト同一取扱 ヲ為スモノトシ之ニ要スル費用 ハ官費支辨トス	野戰補保品ノ梱包ハ軍 需品ト同一ノ要領ニ依リ 運搬ニ要スル費用ハ官費 支辨タルヲ明示スルヲ要ス

<p>戦地ニ於テ酒保要 スル運搬ノ人馬材料 ハ各部隊通宜處 辨スヘシ</p>		<p>トスルニ依ル</p>
<p>第三條 野戰酒保品 ノ梱包ハ最堅字シ テ其ノ梱包ノ重量 ハ約八貫匁又ハ十二 貫匁トシ各梱包六 特ニ青色ノ標記ヲ附 シ且酒保品レノ文 字ヲ大書シ一般軍 需品ト識別シ客 易トシムルヲ要ス</p>	<p>第十條 野戰酒保品ノ梱 包ハ一梱ノ総重量概テ三 十斤ヲ標準トシ梱包ニ特 ニ青色ノ標識ヲ附シ且酒 保品ナル標記ヲ為シ一般 軍需品トノ識別ヲ容易 トシムルモノトス</p>	<p>現行規程ニ依ル野戰 酒保品ノ梱包重量 十二貫八匁キニ滿ケルヲ 以テ約卅斤(八貫)ヲ 標準トスルヲ通商諸トシ 且軍需品トノ混淆ヲ避 クル為メ明瞭ナル標識ヲ 附スルノ要アルニ依ル</p>

陸軍

第十三條 軍隊に於て野 戰酒保ノ業務ヲ フトキハ所管長官 ノ認可ヲ受ケテ 夫ヲ使用スルヲ得 但シ其ノ人員ハ歩兵 聯隊ニ在リテハ三名以 内其他ノ部隊在 リテハ二名以内トス	第十三條 野戰酒保經營ノ 為必要アルトキハ所管長官 ノ認可ヲ受ケテ 用スルヲ得 其ノ人員ハ歩 兵、野砲兵及山砲兵聯隊 ニ在リテハ三名以内其他部 隊ニ在リテハ二名以内トス 但シ其ノ人員ハ規定セル酒保 品ノ補充ヲ担任スル部隊 ニ在リテハ所要ノ人員ヲ 準備スルヲ得	
第十四條 軍隊に於て野 戰酒保ノ業務ヲ 行フトキハ其ノ物品	(消 除)	軍隊内務書ノ規定 ヲ準用スルヲ適當ト スルニ依ル

<p>及金銭ニ係ル帳簿ヲ備ヘ其ノ出納ヲ明瞭ナラシムヘシ</p>	<p>第十五條 前條物品及金銭ノ出納整理官シテ八常該經理部長ノ監督ヲ受ケルモトス</p>	<p>第十六條 内地ヨリ伴行スル酒保請負人ノ糧食ハ之ヲ官給ス</p>	<p>第十七條 本邦籍兵士ノ事項ハ軍隊内務書長</p>
<p>第十四條 野戰酒保ノ經營ニ金銭物品ノ出納整理ニ関シテ八常該經理部長ノ監督ヲ受ケルモトス</p>	<p>第十五條 野戰酒保ノ經營ニ金銭物品ノ出納整理ニ関シテ八常該經理部長ノ監督ヲ受ケルモトス</p>	<p>第十六條 軍属タル酒保請負人ニハ必要ニ應ジ糧食ヲ官給シ又ハ被服ノ一部ヲ貸與スルコトヲ得</p>	<p>第十七條 本邦籍兵士ノ事項ハ軍隊内務書長</p>
<p>陸軍</p>	<p>酒保ノ經營ニ就テハ經理部長ノ監督ヲ受ケル必要トスルニ依ル</p>	<p>糧食被服等ハ常ニ官給シ又ハ貸與サルモ必要ニ應ジ官給シ貸與シ得ルコトヲ要スルニ依ル</p>	<p>委員ノ編成販賣品種價格帳簿等其ノ他ハ</p>

<p>明治壬午陸軍等百 丁七那戰時各隊用 保物品重量規是 ハ之ヲ廢止ス</p>	<p>附則</p>				
			<p>特諸勤務令ノ規定 ヲ準用スルモトス</p>		
		<p>ルニ依ル</p>	<p>隊内務書ノ規定ヲ準 用マシムルヲ適當トス</p>	<p>特ニ規定スルモトナク軍</p>	

野戰酒保規程

第一條 野戰酒保ハ戰地又ハ事變地ニ於テ軍人、軍屬其ノ他特ニ從軍
ヲ許サレタル者ニ必要ナル日用品、飲食物等ヲ正確且廉價ニ販賣
スルヲ目的トス

前項ノ外野戰酒保ハ必要ナル慰安施設ヲナスコトヲ得

第二條 本規程ニ於テ所管長官ト稱スルハ軍司令官、師團長、兵站
監^及之ニ準ズル兵團^長ノ長ヲ謂フ

第三條 高等司令部、聯隊、大隊、病院及編制定員五百名以上ノ部
隊^{ニ之ヲ}ハ所要^{ニ之ヲ}ニ應ジ野戰酒保ヲ設置シ、當該部隊長之ヲ管理ス

前項以外ノ部隊ハ最寄部隊ノ野戰酒保ヨリ酒保品ノ供給ヲ受クル

ヲ本則トス↑但シ必要アルトキハ常該部隊長ノ所管長官ノ認可ヲ
受ケ野戰酒保ヲ設置スルコトヲ得

前二項ノ外各部隊長ノ所要ニ應ジ所管長官ノ認可ヲ受ケ共同ノ酒

保ヲ設置スルコトヲ得
野戰酒保ハ之ヲ設置シタル部隊長ノ管理ニ但シ前項ノ野戰酒保ニ在リテ新管長官ノ定ムル所ニ依

第四條 軍又ハ師團ノ倉庫、補給廠等ニハ各部隊酒保品補充ノ爲所

管長官ノ認可ヲ受ケ野戰酒保ヲ設置スルコトヲ得

第五條 野戰酒保ノ資金ハ平時ニ於ケル酒保資金ヲ以テ之ニ充ツル

モノトス但シ資金ナキカ又ハ資金ノ不足スル部隊ニ在リテハ前渡資

金ヲ以テ一時之ニ流用スルコトヲ得

第六條 野戰酒保ノ經營ハ自營ニ依ルモノトス但シ其ムヲ得ザル場

合ハ所管長官ノ認可一 一部ノ飲食物等ノ販賣ヲ除ク此ノ限ニ在ラズ
 ヲ受ケ請負ニ依ルコトヲ得

平時ノ衛戍地ヨリ伴行スル酒保請負人ハ軍屬トシテ取扱ヒ一定ノ
 服裝ヲ爲サシムルモノトス但シ其ノ人員ハ歩兵、野砲兵及山砲兵
 聯隊ニ在リテハ三名以内、其ノ他ノ部隊ニ在リテハ二名以内トス

第七條 野戰酒保ノ携行スベキ酒保品ノ量目ハ一人當リ總重量五百
 瓦ヲ標準トシ其ノ品種及量目ハ部隊長之ヲ定ム

第八條 酒保品ハ努メテ現地ニ於テ調辨スルモノトシ現地ニ於テ調
 辨シ難キモノ又ハ不利トスルモノハ戰時規定ノ定ムル所ニ依リ之
 ヲ補充スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ補充ヲ受ケタルモノニ對シテハ速ニ代金ヲ送付
スルモノトス

酒保品ニシテ補充上此^已ムヲ得ザル場合ニ於テハ第四條ニ規定スル
倉庫^兼長等ハ所管長官ノ認可ヲ受ケ軍需品ノ補給上支障ナキ限り軍
需品ヲ以テ繰替補充ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ繰替補充ヲ爲シタル場合ニ於テハ同品質ノモノ、
此^已ムヲ得ザル場合ハ同價格ノモノヲ以テ速ニ戻入スルモノトス

第九條 前條ノ規定ニ依リ後方ヨリ部隊酒保ニ補充スベキ酒保品ノ
品種及量目ハ所管長官又ハ其ノ地ニ於ケル最高等司令官之ヲ指定
スルモノトス但シ其ノ量目ハ一ヶ月一人ニ付千瓦ヲ標準トス

第十條 野戰酒保品ノ梱包ハ一梱ノ總重量概ネ三十斤ヲ標準トシ梱

包ニハ特ニ~~紫~~緑色ノ標識ヲ附シ且「酒保品」ナル標記ヲ爲シ一般軍

需品トノ識別ヲ容易ナラシムルモノトス

第十一條 野戰酒保品ノ輸送ハ一般軍需品ト同一ノ取扱ヲ爲スモノト
シ之ニ要スル費用ハ官費支辨トス

第十二條 野戰酒保經營ノ爲必要アルトキハ所管長官ノ認可ヲ受ケ雇
傭人ヲ使用スルコトヲ得其ノ人員ハ歩兵野砲兵及山砲兵聯隊ニ在
リテハ三名以内其ノ他ノ部隊ニ在リテハ二名以内トス但シ第四條
ニ規定スル酒保品ノ補充ヲ擔任スル部隊ニ在リテハ所要ノ人員ヲ
雇傭スルコトヲ得

第十三條 軍屬タル酒保請負人ニハ必要ニ應ジ糧食ヲ官給シ又ハ被服
ノ一部ヲ貸與スルコトヲ得

第十四條 野戰酒保ノ經營並ニ金錢及物品ノ出納整理ニ關シテハ當該
經理部長ノ監督ヲ受クルモノトス

第十五條 本規程^{達ニ規定セ}ニ定メザル事項ハ軍隊内務書及戰時諸勤務令ノ規定
ヲ準用スルモノトス

9260

經手第 八三號

連帶課	決裁指定	件名	参考 第三課 御中 陸軍省經理局衣糧課
	連帶印	野戰酒保規程改正 二 閱スル件	
	局長	課代	連帶還付期限 至急 日迄

参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス

9260

連帶課	決裁指定 次官	件名	軍事課 御中	陸糧甲第八三号
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 主事、補任、医事、兵務、防備、整備、建築、監査、軍事	連帶印	野戰酒保規程改正之案スル	御中	
	局長		陸糧課	連帶票
				九月十八日
	局長			
	連帶還付期限 至急 月 日迄			



4460

連帶課	決裁指定 次官	名件 野戰酒保規程改正ニ関スル 件	要備課 御中 衣糧課	連帶票 九月十八日	衣糧甲第八三号
	印帶連 局長				
	局長課 局長				
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 主事、補任、兵務、防備、醫務、監査、軍事、整備	連帶還付期限 至急 日迄				

8260

連帶課 参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 主事、補任、医事、兵務、防備、整備、軍事、 建造、築、造査、	決裁指定 次官	件名 野戰酒保規程改正ニ関スル 件	兵務	連帶票 九月十八日	陸軍省 2.9.18 防備課	
	連帶印 局長		防備			御中
	兵務 防備		兵務			衣糧
	連帶還付期限 至 〇 日迄					

6260

連帶課	決裁指定 次官	件名	補任課	連帶票
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 主事、建築、監査、軍事、 補任、兵務、防備、整備、 医事	連帶印 局長	野戰酒保規程改正ニ関スル 件	御中	九月十八日
	課長 		衣糧課 	
	連帶還付期限 至急 月 日 迄			

衣糧甲第八三号

0860

連帶課 参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 主任、建築、監査、軍事、 補佐、兵務、防備、整備、 医事	決裁指定 次官	件名 野戰酒保規程改正ニ関スル 件	連帶票 連帶課 御中 九月十八日 衣糧課	連帶甲第八三号
	印帶連 長局			
	長課			
	連帶還付期限 至急 日迄			

1860

課 帶 連	決裁指定 次官	名 件 野戰酒保規程改正之関スル 件	主計 監査 建築御中 衣糧課	連 帶 票 九月十八日	陸糧甲第八三号
	印 帶 連 長 局				
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノ 主計、監査、建築、軍事、 補任、兵務、防備、整備、 医事					